

高倉通信

平川市長寿 福祉大会



金婚者記念撮影

敬老の日の9月21日平川市文化センターで行われた27年度長寿福祉大会

式典では県知事顕彰（100歳到達者7名・夫婦ともに88歳以上11組）

平川市顕彰（90歳卒寿131名・金婚51組）の伝達や、老人クラブの表彰。また式典に先立ち、半世紀にわたって苦楽をともにしてきた金婚のみなさんに敬意を表し、金婚長寿祈願祭と金婚者記念撮影が行われました。

この人に
インタビュー
山口金光さん

7月に行われた平川市議会議員選挙で、初当選された山口金光さんに聞きました。

“抱負を教えてください”
市民の意見・要望を市

平川市
東奥日報
尾上販売店
第110号



スピード感をもってがんばりたいと語る山口金光さん

東奥日報
朝日経済
朝刊日本
読売日本
スポーツ新聞各種

政に届けること。そして「ふる里創生」。

この地で育まれた子ども達が成長し、地元に残っても、あるいは遠い地にあっても、ふる里を大切に思い、いづれふる里を支える力になっていく。そのための教育や環境を整える事が大事だと思っています。

“最後に趣味は？”

尾上中学校時代、テニス部に所属していて、当時も尾中は強かったですよ。今はお酒を飲むのが楽しみです。

李平町会

納涼まつり

7月から8月にかけて、各町会ごとに納涼まつりが行われ、その中でも8月22日、李平地区集落改善センターで行われた李平町会（会長 天内勝弘さん）の納涼祭では、金魚すくいやビールコーナーその他、斎藤カラオケ教室のみなさんによる歌謡ショーもあり大盛況でした。



くじコーナーには子ども達がたくさん集まりました

まち歩き 高浜虚子の句碑

代馬は大きく津軽富士小さし 虚子
猿賀神社境内の蓮池の



鏡ヶ池内の胸肩神社へと続く赤い橋の入口付近

ほとりにある、高浜虚子の句碑に彫られた名句です。この句碑の「代馬」（しろうま）というのは、田植え前に田を掻く馬のこと、その田掻きの馬だけが大きく、津軽富士が遠くに小さく見えた、という内容です。
虚子は俳人で小説家でもあり、正岡子規に師事。昭和14年5月26日、大鰐からこの猿賀神社に詣でて、天然記念物である鷺と鶉の群生する鳥の巢の営みを見て、更に盛美園へとむかいました。虚子の作句には
みちのくの猿賀の村
の田植え見る
などがあり、昭和24年にも大鰐・弘前を来遊しています。